

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 介護予防と社会参加の促進

指標	生きがいを持っている高齢者の割合（％）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
	【福祉課】	71.9	76.2	77.1	75.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 生きがいを持っている高齢者の割合は、基準値(71.9%)と比較して、5.2ポイント向上し、前年度と比較しても0.9ポイント向上しました。					対前年度
	(要因) 老人クラブ活動や地域でのボランティア活動などの各種事業を連携して、生きがいづくりに積極的に取り組んだことが挙げられます。					☁️ (横ばい)
						目標達成度
						🏰 (達成)

基本事業01 介護予防と社会参加の促進

指標	新規要介護認定者出現率（％）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
	【介護保険課】	2.0	2.3	1.8	1.9	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和元年度に新しく要介護認定を受けた65歳以上の方は625人と、新規要介護認定者出現率は、65歳以上の高齢者人口34,767人の1.8%となり、基準値(2.0%)と比較して、0.2ポイント減少し、前年度と比較しても0.5ポイント減少しました。					対前年度
	(要因) 平成29年から総合事業が開始され、介護認定せずに介護予防・生活支援サービス事業を利用できるようになったことが挙げられます。今後も引き続き、介護予防の必要性を啓発し、更なる成果向上に努めてまいります。					☀️ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

基本事業02 日常生活の支援

指標	日常生活支援の延べ利用者数（人）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
	【福祉課】	1,755	2,085	1,801	2,000	☀️ (向上)
評価	(状況) 日常生活支援延べ利用者数は、基準値(1,755人)と比較して、46人増加しましたが、前年度と比較して284人減少しました。今後も、サービスが必要な方に適切なサービスが提供されるよう、ホームページや高齢者ガイドブックを活用し周知を図ります。					対前年度
						☔️ (低下)
						目標達成度
						▬▬ (中)

基本事業02 日常生活の支援

指標	高齢者虐待件数（件）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
	【福祉課】	7	7	25	5	☔️ (低下)
評価	(状況) 高齢者虐待件数は、基準値(7件)と比較して、18件増加し、3倍以上の件数となりました。					対前年度
	(要因) 高齢者虐待の通報義務が市民の方々へ浸透したことで、市への通報が多くなったことが挙げられます。また、高齢者数は今後も増加傾向にあり、介護者の負担や養護者との関係も複雑化することで、高齢者虐待が増加することが予想されます。今後も、高齢者の人権が守られるよう、要援護高齢者ネットワーク事業をはじめとした関係機関の連携を強化していきます。					☔️ (低下)
						目標達成度
						▬▬ (低)

基本事業03 介護サービスの推進

指標	介護保険サービスの満足度（3年に1度）（％）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
	【介護保険課】	-	-	58.3	75	
評価	（状況）介護保険サービスの満足度は、前年の実績値(61.0%)と比較して、2.7ポイント低下しました。					対 前年度
	（要因）要因として、時代とともに利用者のニーズが変わっていることが挙げられます。アンケート結果を踏まえ、高齢者の方の現状・ニーズを把握した施策を推進していきます。					☔ (低下)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (低)

基本事業03 介護サービスの推進

指標	認定不服に関する審査請求件数（件）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
	【介護保険課】	1	0	0	0	☀ (向上)
評価	（状況）要介護認定に関する審査請求件数は、前年度と同様に0件で、目標を達成しています。					対 前年度
	（要因）利用者の個々の身体状況や環境状況、介護の考え方など苦情の原因は様々ですが、窓口等での説明によりご納得いただいたことによるものです。今後も引き続き、認定結果に不服が起きないように受付時や調査時に丁寧に説明していきます。					☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業03 介護サービスの推進

指標	入所待機者数(要介護度3以上)（人）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
	【介護保険課】	157	180	139	120	☀ (向上)
評価	（状況）入所待機者数(要介護度3以上)は、基準値(157人)と比較して、18人減少しました。					対 前年度
	（要因）在宅サービスが充実したことや施設の基盤整備が進んだことが挙げられます。今後も、更に在宅の介護サービスを充実させていくとともに、施設の基盤整備を進めていきます。					☀ (向上)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (中)

基本事業04 医療・介護連携の基盤づくり

指標	医療との連携による在宅生活ケア件数（件）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
	【介護保険課】	-	80	79	25	
評価	（状況）医療との連携による在宅生活ケア件数は、前年度と同程度の実績でした。					対 前年度
	（要因）ケアマネジャーや本人・家族からの相談件数が増えており、市民の認知度が向上してきたことが挙げられます。今後も継続して、周知を図ります。					☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業04 医療・介護連携の基盤づくり

指標	関係機関からの医療介護連携に関する情報提供件数 (件)	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
		【介護保険課】	-	30	31	50
評価	(状況) 前年度の同程度の方を往診医につなぎました。					(横ばい)
	(要因) 目標値に届かない要因として、市民への普及が十分でないことが挙げられます。今後も継続して普及啓発をしていくとともに、介護保険計画の計画策定時の調査の中に、在宅医療と介護連携推進事業について、市民の実態調査を行い、実態を把握する必要があります。					目標達成度

基本事業05 高齢者に関する保険制度の持続運営

指標	介護保険現年度収納率(普通徴収+特別徴収)(%)	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
		【介護保険課】	99.32	99.57	99.75	99.50
評価	(状況) 介護保険現年度収納率は、基準値(99.32%)と比較しても0.43ポイント向上し、前年度と比較しても0.18ポイント向上しました。					(向上)
	(要因) 被保険者の理解が進んでいることに加え、早めの催告や納付勧奨を行っていることが挙げられます。今後も納付者との公平性を図るためにも、収納率の向上を目指します。					目標達成度

基本事業05 高齢者に関する保険制度の持続運営

指標	介護保険1人あたり給付費(円)	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
		【介護保険課】	120,889	129,594	136,800	120,000
評価	(状況) 本指標は、利用しやすい介護制度の浸透と、過度な給付費の抑制のバランスを評価するものであり、平成30年度の後期高齢者(75歳以上高齢者)人口の伸び率(104.3%)と同様に、一人あたり給付費の伸び率(105.56%)も増加しました。今後も65歳以上の前期高齢者が要介護状態にならないよう、介護予防事業等の更なる展開が重要になってきます。					(低下)
						目標達成度

基本事業05 高齢者に関する保険制度の持続運営

指標	後期高齢者医療保険料 現年度収納率(%)	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
		【国保年金課】	99.71	99.62	99.71	99.75
評価	(状況) 後期高齢者医療の現年度収納率は、基準値(99.71%)と比較して、同値となりましたが、前年度と比較して0.9ポイント向上しました。					(向上)
	(要因) 口座振替の推進や徴収強化の取組を推進したことが挙げられます。					目標達成度

